

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス プロスキッズ			
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日 ～ R7年 12月 29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日 ～ R7年 12月 29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 8日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性を理解し、一人一人の個別支援計画に基づき、話し合いを重ねている。	子どもの成長に合わせて、支援内容を支援者が工夫して準備している。保護者の要望や主訴によって長期目標を立てて本人と保護者に達成感を味わってもらえるような療育を心掛けている。	支援者と信頼関係を構築して、場所にも慣れて楽しんで通所していただけるよう、要望や意見をくみ取れるような工夫をする。
2	毎日の支援や楽しい行事を計画し、体験すること事を大切にしている。	活動に参加することや行事と一緒に行動することで、外出時のマナーを知ることや、社会との交流、戸外で十分に身体を動かしたりすることで満足感や達成感を味わい、楽しい活動をしている。日々の活動も見直し、子ども達が満足できるよう計画して、保護者に活動の見える化にも取り組んでいる。	公共の場での約束やルールを分かりやすく絵や図で表し、理解ができるような工夫をしたり、様々な体験ができるように要望や意見を取り入れながら楽しく行事を決めていくようにしていく。
3	食育に力を入れ、子ども達と一緒に作ったり、毎日のおやつを手作りし、喜ばれている。	子ども達の中には好き嫌い多かったり、食の乱れが発達にも影響していることを鑑み、自分達で畑作りし、収穫する楽しさで野菜にふれることや、調理する楽しさを味わい、なるべく手作りのおやつを提供や、活動にクッキングを取り入れるなど豊かな食の提供をしている。	畑を作ることで野菜の作り方などを一緒に図鑑等で調べたりして、もっと身近に食と関わるようにしていく。調理の楽しさを知ってもらえるよう、手伝いを積極的にしてもらおうようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職（作業療法士・理学療法士・言語聴覚士）等がない。また、障害の理解を深めていくために、研修等の研鑽を深めていく。	職員の質の向上について、より多くの研修等に参加していく。研修には、職員が学べるよう多くの研修に参加、またそれを伝えていく場を設けていく。	専門職の方や、他事業所等との連携を図りながら、職員の質の向上に努めていく。
2	保護者への伝達が不十分であった。	避難訓練や個別支援計画の説明等必ず行っているが、全保護者に伝わっていなかったため、評価表の「どちらかともいえない」もしくは「分からない」にチェックが入っていた	全保護者へ確実に伝わるように伝達方法を工夫していく。
3	事業所では、事故防止マニュアル・緊急時対応マニュアル等の作成は行っているが、放デイでのマニュアルを作成していなかった。	放デイとして緊急マニュアルの徹底を図り、保護者にも緊急時に連絡が取れるように作成する必要がある	マニュアルを作成し、保護者へもマニュアルを周知し、緊急時の時の連絡等の徹底を図っていく。